



君たちはどう生きるか 地域住民の一人として

十三日、地域活性化の取組に詳しい専門家（名古屋大学大学院環境学研究所…高野教授）を迎え、地域の現状と未来予測及び地域活性化の効果や成功例等の紹介を受け、これをもとにグループディスカッション（小山田・水沢小学校六年生もオンライン参加）を実施しました。感想としては、「地元の魅力を知るきっかけになった。自分の将来と地域を結び付けて考えることができ、とてもよい経験になったと思う。さらに、自分が何を目標に頑張っていきたいのかを明確にすることもできた。地域の一員として、いろいろなことを考えていきたい。」という内容もたくさんありました。終わりに、地域の方からの評価や励ましの言葉を戴きました。取組を通じて、地域の課題を負の面だけでなく、多様な視点・価値観から柔軟に思考・発想するきっかけが生まれたのではないかと思います。また、一月三十日には、地元に関わりの深い企業（中村製作所・かぶせちやカフェ）の経営者様によるキャリア教育講演会（一・二年生）を実施しました。講演だけでなく、クイズや質疑応答により双方方向の取組を進めました。生徒たちからは、「失敗するかもしれないの



になぜ新しい事業にチャレンジしようと思っただのか」「何かを決断する時に気を付けるべきことは何か」「なぜ中央（都会）ではなく、地方（田舎）で企業活動（生産・販売）をすることにしたのか」といった旨の素朴な疑問がたくさん出されました。

講師のお二人からの、「避けずにできる方法を考える」「力を借りることも方法のうち」という前向きでぶれない答えに、生徒たちは目を輝かせて聴き入っていました。

こうした機会の積み重ねによって生き方や新たな価値観が発見・形成され、「未来をきり拓く力（学校教育目標）」の育成へつながるよう、今後も続けてまいりたいと思います。

今後の学校運営に向けて（学校関係者評価）

二日、本年度最後のコミュニティ・スクール運営協議会を開催しました。今回は、「学校自己評価の結果（別添）」、「分析と今後の方針（HP掲載）」について、ご審議いただきました。結果は次のとおりです。

【生徒】

○安心な学校生活や悩みや問題についての教師が親身になった相談は、**100%**の回答を得ている。今後もぜひ継続したい。

○学習評価への満足度がわずかにではあるが減少したこと、**将来に夢を持っている割合が低い**ことに着目し、指導を進めたい。

【保護者】

○キャリア教育の推進や地域・保護者との連携や、生徒指導上の学校の対処や教育相談について、高評価を得ている。

○情報発信については、学校HPのタイムリーな更新ができていなかった。スピード感のある対応に心がけるよう確認した。

○部活動の地域移行に向けて見通しは不明確ではあるが、**当面、学校の部活動が放課後の活動の受け皿**となるよう努めていきたい。

自然教室を終えて

六日、七日に一年生の自然教室を実施しました。二日目のスキー実習も吹雪の中で熱心に取り組み姿が見られました。**何事も夢中**になって取り組むと楽しいこと、それが**人生を豊かに**してくれるということに気づく機会になったのではないかと感じています。

出発式で目当てとした正しい判断に基づく行動については、意識して頑張ろうとする姿が随所に見られてほほえましく思いました。成果や課題は、解散式のリーダーたちの言葉にもあった通り、これからの学校生活の中で生かしてほしいと思います。



解散式では、出発前にミッションとした「三つの三角形」の一つであるロープウェイの六号支柱に込められた御在所開発への人々の願いと情熱について語りました。険しい自然の中に打ち立てられた金字塔から何かしら感じ取ってくれたら本望です。

